

星の夢百聞

第237号

発行日 2025年11月1日

発行 株式会社 おいらーく

札幌市東区東苗穂9条3丁目1-40

発行人 星野 二三江

令和7年
後期

オリエンテーション 開催

令和7年10月1日、みなえーる2階大会議室で、今年の4月以降入職の新入職員向けの、第2回オリエンテーションが開催されました。このオリエンテーションは、新入職員のみならず、さんが少しでも早く、深く、おいらーくに馴染んでいただけるように、4月と10月半期ごとに実施しています。この度は、11名のみなさんにご参加いただきました。

3年前から、後期のオリエンテーションでも幹部職員からの入職お祝いの挨拶をいただく時間を設け、今年も多く先輩から祝福、激励のメッセージを贈っていただきました。幹部のみなさん、お忙しいところご協力いただき本当にありがとうございます。

そして、星野代表自らの新入職員のみなさんにおいらーくを知っていただくために、魂のこもった会社紹介はオリエンテーションのメインイベントです。今回はいつもの教室スタイルから、同期のみなさん同士もっと身近に感じてもらうとうと、代表の提案でコの字型に机を並べました。おいらーくの生い立ちから、理念、業績、各事業所や取組みの特徴、イベントなどエピソードをまじえながら、詳しくご説明いただきました。その後、総務から人事評価システム説明、就業規則解説等をお聞きいただき午前のプログラムは終了です。

昼食は、元町式番館配食事業部山下さん渾身の「おいらーくへようこそ弁当 秋味」！ボリューム満点、秋を感じるみんなが大好きなおかずがびっしりで、おいらーく配食事業部の実力を感じる力作でした。

午後はバスで近隣の事業所見学に出かけました。どの施設もご担当のみなさまに軒先や入館しての施設の特徴のご説明をいただき、ご参加のみなさまからは、あまり機会のない他の施設が体感できたと、よい感想をいただきました。ご協力の施設のみなさま、毎度ありがとうございます。来春もよろしく願います。

その後、エルパサへ戻り、関東以北最大級のデイサービス「次世代型デイトレセンター エルパサ」を、時間をかけて丁寧にご案内いただきました。そして、最後は距離の関係で本日の訪問は難しい銭函事業所から、ZOOMで施設紹介をいただき、1日のカリキュラムを終えました。

朝から夕方まで、びっしりのプログラムと新環境の緊張とでお疲れになったと思いますが、このオリエンテーションが少しは役に立ち、末永くおいらーくで活躍いただけることを祈願しております。(総務 尾川)

おいらーくへようこそ！

令和7年度 おいらーく第2回オリエンテーション



これから仲間として、よろしくお願いします！！

秋を感じるお弁当！



副代表



代表

第8回 豊生会DT事例研究発表会

ダイバジヨナルセラピー

10月19日(日)、第8回DT発表会「DTフェス」を開催しました。午前は発表会、午後は交流会の二部構成で、発表会には47名、交流会には28名が参加。外部からの参加もあり、笑いと感動に包まれた一日となりました。

発表内容は、利用者様・入居者様への個別支援や集団活動、発表者自身の取り組みなど多彩で、会場は大いに盛り上がりしました。受賞された皆様、おめでとうございます！午後の交流会では、参加者同士が垣根を越えて語り合

い、笑顔があふれる時間となりました。

た。発表を通じて得た気づきや感動を共有し、グループ全体の絆がより一層深まったひとときでした。

(DT委員会委員長：岸本)



演題目・発表者	
「俺はパンを求めて今日も「てんや新道へ」 ヘルパーステーションリ・ボン/道下悦子・石谷烈子	
優秀賞	「相棒のカメラと巡る 第2のピント調整」 看護小規模多機能型居宅介護事業所 えくぼ元町/ 山崎孝宏・山本亮太・宮川由香里・大徳一也
最優秀賞	「猫の手日記」 豊生会介護事業部/林やよい
「できないと思ったことができるように！」 次世代型デイトレセンターエルバサ/渡邊忍・柳川純子	
芹澤賞	「言葉を越えて「今」に寄り添う」 グループホームすぎの子の家/山川夕花里
「さっぼろ散歩」 グループホームひかりの家の家/口田史絵・塚原芽生	
「家族と生きがい」 介護付き有料老人ホームせんり/三澤千秋	
「新しいひまわりの取り組み」 老人保健施設ひまわり通所リハビリ/石垣裕一・荻野史子・石田実里	

DTフェス!
大いに盛り上がりました!



午後は楽しく語り合う交流会!



秋の 行事レク

〈銭函デイトレセンター〉

体を使ったレクで運動不足解消!

皆様こんにちは! 銭函デイトレセンターです。今回は、当施設で行われたレクリエーションの様子をご紹介します。

今月は、ご利用者様に人気の「風船バレー」と「じゃんけんリレー」を初めて実施致しました。

風船バレーでは、軽い運動を兼ねながら、皆様が力を合わせて風船をつなぐ姿が印象的でした。風船が飛ぶたびに「そっちに行っちゃった!」等と声が上がってフロア全体が笑いと歓声に包まれました。

普段はあまりレクには参加されない方もこの日は自然と輪の中に入り、笑顔で風船を打つ姿が見られました。職員も一緒に汗をかきながら、皆様と楽しい時間を共有することが出来ました。

続いて行われた「じゃんけんリレー」では、勝たないとバトンを渡せないというルールに皆様真剣そのものでした。何度もあひこが続くチーム内からは「頑張れ!」と声援が飛び交いました。普段よりもご利用者様同士の交流が深まり、笑顔と声援が絶えない心温まるひと時となりました。

今後も、皆様が笑顔になれる楽しいレクを企画していきたいと思っております!

(銭函デイトレ...小笠原)



ゲーム形式で楽しく
運動できました!



朝礼での素敵なお話 特集

「ゆーめの存在が利用者様の活力に」

てんやわんや北 31 条では、施設内通貨ゆーめの浸透が来ていませんでした。半年前までゆーめとは一年に二回の宝くじしか使用しない物だと自分の中で思っていました。北 31 条は足し算の介護が多いとセンター長より指摘があり、自分でできる利用者さんにも手を貸してしまい職員主体のデイとなっていました。そんな中ゆーめで何をするのか、初めは自分自身ですらゆーめの価値はおろか浸透させる方法すら正直わかりませんでした。転換となったのが 6 月からの昼食のバイキング強化で全て利用者自身で行って頂く事から始まり、15 時のおやつも職員が運ぶのではなく、バイキング化にしていき、同時にコーヒーや紅茶もゆーめを支払っていつでもご自身で入れて頂くような仕組みへ変更しました。それにより稼いで使う！という意思が生まれいっそうやる気も見られ、いい傾向となってきました。もっと楽しんでゆーめを稼いで使って頂きたいと思い、引き算の介護を実施することで、利用者さんが自分の意思で動き、活力が向上していくのを目の当たりにしたことで、自分自身の固定概念がここまで違っていたのかと痛感いたしました。利用者の方々の変化を見て、すぐく勉強させて頂き、実はこの人できるんだ！と発見することがとても嬉しく思います。現在はゆーめ銀行が出来るほどになり、これからもゆーめの浸透を模索し続け、利用者さんの機能改善に努めていきたいと思っています。



てんやわんや：三浦
北 31 条

「美味しい食事は元気の源」

母が交通事故で長期入院し、病院食が合わず食べられずに 10 キロ以上も痩せてしまいました。その結果、リハビリも思うように進まず、「食事の大切さ」を改めて実感しました。病院や施設、デイサービスでも、食事は心と体の元気の源です。エルパサを楽しみにしてくださる利用者さまの中には、「食事が美味しいから楽しさ」と言ってくださる方も多くいらっしゃいます。これからも、皆さまに「食べる喜び」を感じていただけるよう、美味しく・楽しいお食事を配色事業部さん、よろしくお願いします!!



エルパサ：板倉由美

「真っ白な壁に新しい夢」

先日、山口県にある、夢のみずうみ村の職員さん達が、我々本町の見学にいらっしゃいました。本町をオープン当初に携わっていただいた方も来られると聞き、今は機能していない階段の横にあった「イライラ棒」という、開設当時からあったトリムを思い切って外し、壁を真っ白なペンキで塗り直しました。「明るくなった」「すっきりして良いね」と利用者さんから予想外に反響は大きく、声が上がりました。本町では、様々な役割を自分の仕事として取り組まれる利用者さんが多くいらっしゃいます。環境整備を自分の役割と考え、帰りの前にテーブル拭きや洗濯物干し、床掃除までこなす利用者さんがいます。その利用者さんが、「あの壁をどうするか、これからの楽しみに考えよ」と声がありました。ペンキを塗った事をきっかけにして、「カーテンや窓とか一度、掃除をした方が良いね！」など話どんどん広がって来ています。リニューアルから早いもので 5 年、まだまだ新しい夢を作って行きたいと考えています。



てんや本町：花村

「入居者様ご家族様との関わり合いを大切に」

うららでは、令和 2 年から入居者様にアルバムを作成しています。行事や誕生日の写真を入れて、入居者様には記念になるように、ご家族様には普段のご様子分かるようにと職員のアイディアで始まりました。先月の敬老の日、法人から 100 歳を迎えられる入居者様へ賞状と金牌が贈られ、3 名の方が対象となった際、記念にご家族様が面会に来られた時に一緒に写真を撮らせていただきました。あるご家族様にお祝いの言葉をお伝えした所、ご本人様が 100 歳という年齢に衝撃を受けてしまわれたようで、「私が 100 歳な訳がない。100 歳はあんだでしょ!!」と娘様に向かっておっしゃったそうです。また、あるご家族様は写真を撮らせていただいた事を喜んでくださり、ご自宅に帰られてから、お礼の FAX を送っていただきました。一部抜粋して『いつも温かな笑顔と優しいご配慮に感謝しています。スタッフの皆様、末永くお世話になれますようにと心より願っています。』これからも、入居者様・ご家族様と共にある うらら伏古でありたいと思います。



うらら伏古：小林

「若さとは心の持ちよう」

普段、デイサービスの業務での利用者さんとの関りの中で、年齢には関係なく、その若さやパワーに驚かされる事が多くあります。来所すると、1 階のフロアを何周も歩く人、卓球に情熱をもやし熱心に取り組む人、またこの仕事は私の役割と、責任感を持って内職リハビリに取り組みむ人等様々です。

先日二世帯住宅で同居する今年 80 才になる義母が、仕事を見つけた！と私の所に駆け寄ってきました。聞いてみると、とある温泉で早朝の風呂掃除のアルバイトを募集していると早速応募してみると、なんと採用されました！普段から、テレビを見たり、家事をして過ごしながら一日一日が過ぎていくのが嫌だったようです。私が起床すると、もう義母は仕事に出掛けています。生活にメリハリが生まれ、新しい仲間も出来たと表情も明るく若返ったようです。若さとは、化粧品で誤魔化したりする事ではなく、心の持ちようなのだと言われ、義母に教えられました。



てんや本町：水谷



朝礼での素敵なお話 特集



「自宅で過ごしたいを支える」

訪問介護として日々掃除や調理等の家事サービスが多い中…先月より自宅にてお過ごしになられている106歳女性の方への訪問が始まりました。娘様方が同居されており、お母様のためにと慣れない介護を始め、毎日協力しておられる素敵なお家族様です。現在は排泄介助に加え、ご家族様への相談支援…私たちが持っている最大限の介護知識や経験を活かしアイデアやアドバイスを提案させていただいています。誰しも「最後は自宅で過ごしたい」という想いが心のどこかにあるかと思います…それを実現できるのはご家族様の想いや寄り添いがあってからこそ、そしてそれを支える私たちヘルパーや訪問の存在が重要であると、在宅訪問の奥深さを身に染みて感じています。



リ・ボン:軍司

「会いたいの一ひで涙の再開」

叔母が留萌の特養に入所してると聞きました。「会いたい！」母だって、言葉にしないけど、会いたいんだろうに「まずは私が会いに行ってくるわ」と断言。ビデオ通話をしよう！と練習をして、留萌まで。ところが、玄関で門前払い。なんと私に微熱があったのです。母に「ごめんね。」と謝ると「母さん、行きたい！」と。1週間後、母と妹は旭川から叔母に会いに行き、涙の再会を果たすことができました。二人の抱き合ってる写真を見て…この瞬間の為に私は会えなかったんだ。



えくぼ:後藤

「来年こそは！利用者様の熱意」

「継続は力なり」この言葉がピッタリな利用者様がいらっしゃいます。一緒にパークゴルフを始めて二年。久しぶりだから出来るか不安な気持ちでスタートしましたが続けていく事で意欲が湧き今年は、ご自分から行きたいとおっしゃられました。本人の希望を叶える為に日程の調整を開始。7月、8月は熱すぎて断念。9月は予定した日に体調不良で断念。10月も何度か予定を立てましたが雨となり行けませんでした。来年も行けるようにサポートします。ゴルフ場を貸して下さったてんや東苗穂さんありがとうございます。



えくぼ:佐々木・東出

「言霊…それは発した言葉通りの結果が現れる力」

10月初旬、実家のある稚内へ法事の為にとぼ返りした時の事です。いつもは天塩から留萌を抜けるオロロンラインを通っていますが、鹿の飛び出しが繁盛なので、今回は国道40号線から高速道路を使って帰路へ着こうと19:30に出発しました。サファリパークさながらにして、特に夜間走行時はいろいろな動物に出会います。土別インターチェンジまでの道中で、今回一番初めに現れたのは猫でした。同乗していた娘と「以前はキツネやタヌキ位だったよね」と話をしていたら、子タヌキ三匹がわしゃわしゃと走っているのを目撃し。「子タヌキかわいいねー。次はキツネに会えるかな」と口に出したら本当にキツネが路肩にお座りしているではありませんか！「口に出した動物が次々と！今回、まだ鹿に出会ってないからもしかして…(笑)」その通り…5〜6頭の鹿の群れが横断していました。「いやー！何？言霊？次は？まさかの熊?!いやーそれはないよねー。」と走行を続け道央道に入りました。疲労が眠気に代わり砂川SAで仮眠をとり、2:30過ぎに目が覚めた所で再び走り出しました。薄暗い景色の中にいきなり黒い塊が視線に飛び込んで来ました。「うわ！く、熊だ！」とブレーキを踏み込み事故に至らず回避出来ました。口に出した動物が次々を現れ、しまいには熊にまで…これは言霊以外の何物もないわけで。口にする事が本当になるなら、ここで宣言します！来年の新燃会の抽選会で絶対当りを引きます！今度こそ！私は当たる！結果は…新年会で(笑)



サポートユアライフ:石川

「ある入居者の施設転居から学ぶもの」

在宅からCoCo輝楽入居になり7年間担当させていただいた利用者様が特養へ入所される事になり、入所先施設から看護師、相談員、CMが来所され移乗、移動介助、食事時の様子を見ていただきました。利用者様は認知症の進行に伴い身体介護の歳には拒否もあり、介助している職員に手を上げる事もあります。介助の様子を見ていた施設看護師さんから「高齢の方は血管が脆く、内出血を起こしやすいが、この方には皮膚には内出血の痕は見られませんでした。皆さんが上手に関わっているからですね。介護に自信を持っています。」と仰ってくださいました。食事提供についてもお箸を使う事が難しい利用者様が使用しているスプーン、フォークは軽量で持ちやすく、汁物は取っ手付きで持ちやすく利用者様への配慮がされており、施設での参考になるとも話されていました。外部の方の評価を伺う機会はこれまでありませんでしたが、利用者様の状態に合わせて対応してくださっている職員皆さんへの評価であると思います。



ケアプラン銭函:上枝

「認知症には孫の愛が特効薬」

先日仕事帰りケーキを購入(イライラ防止)し帰宅しました。夕食後に祖母に「ケーキ食べる？」と聞くと嬉しそうに頷きペロリとたいらげ、食器を片す事もなく2階の自室に行こうとしていました。まだ甘味を摂っていない私は強い口調で「まだ歯磨きしていないよ！」と言ってしまいました。その言い方が悪かったのか母から「もうしたから寝る！」と返事が返ってきました。その後は「した」「してない」のバトルへ……。その時救世主の息子が帰宅し大きな声を聞き状況を察知したのか「パパ、2、3回多く磨いたっていいでしょ、きれいになるんだし」の一言でコロッと表情も態度も変わり「そう？わかったよ」と洗面所に向かった祖母。息子には利用者さんと思って接するよう促されたけど、まだそこまで仏の心を持ってそうにないの大好きな孫に母への対応はお願いする事に決めた出来事でした。



サポートユアライフ:宮城

秋の行事レク

〈デイトレセンターエルパス〉

カジノで新しい風を

3月某日、エルパスへ通う利用者さんの満足度を上げる為の会議が行われました。ふと、2階で寂しげに置かれているルーレットを思い出し、カジノをやってみようという声が上がりました。エルパスの強みである、次世代の介護予防を筆頭に、考える力やスリル、幸福感を味わってもらい、脳を活性化させたい。認知機能向上へのアプローチを図りたい。利用者さんの活動の幅を広げたい。というのが私たちの思いでした。

そこから始動までには何度も話し合いが行われ、ついに6月、カジノが開催されました。毎月第3週のAM・PMで開催され、参加無料で、ゲーム終了時に手元に残ったチップの枚数で景品がもらえるというのが売りでもありました。景品には、エルパスカフェで利用できる『コーヒーク杯無料券』や、『癒しメニューもう1回券』など、チップ枚数に応じてお得感の増すラインナップとなっています♡

記念すべき初回は、わずかな人数でのスタート。しかし、その様子に興味を示して、気が付いたらたくさんご利用者さんが集まってきました。ルーレットを見ながら「来い来い」と願う声、当たって「よし!」と喜ぶ声、外れて「くそー!」と悔しがる声、私たちの予想を上回る盛り上がりを見せました。

景品を設けることで、毎日開催ではなく、毎月1週間の限定開催となってしまうましたが、それがまた利用者さんのワクワクを掻きたてるものとなりました。一人一人のチップに懸ける思い、当たるか外れるかのドキドキ、これからもエルパスはカジノを通して、利用者さんの様々な表情を写し出していきたいです。そしてカジノだけにとどまらず、利用者さんの満足度を上げる為に、私たちは走り続けます! (Lpassa: 村田)



景品をかけて…白熱したカジノになりました!

〈てんやわんや新道〉 DTのソナスセッション

てんやわんや新道では、DTのソナスセッションを数年ぶりに実施しました。当初は、建物内にブドウを吊るしブドウ狩りを…と考えていましたが、時期が合わず、急遽、手形モミジと栗やどんぐり、リンゴ等で「旬の秋と身近な秋」をテーマに実施しました。セッションには、アセスメントを実施した利用者様以外にも参加され、当日利用者の7割ほどの方々で行いました。人数も多く大盛況! 今回の実施日以外の利用者様にもご協力いただき、大きなモミジの樹が完成しました。ご協力いただいた皆様ありがとうございます! その他には、秋にちなんだ歌にボディーパーカッション合わせて男性・女性問わず、皆さんの笑顔がみられDTの力を感じた瞬間でもありました。

利用者様にとっての秋は、食に関するエピソードが多く、今回は、直接触れていただいたリングゴを使いアップルパイと数粒のブドウをつけおやつを提供しました。おやつはもちろん手作りです。五感に刺激のあるDTとなり、これからのてんやわんや新道の盛り上がりにつながるDTとなりました。

(てんや新道: 海藤)



立派な手形紅葉の樹が完成しました!

〈えくぼ元町〉 日常に特別感を!

9月・10月の誕生日の方の写真撮影とレクの際にハロウィンの仮装をしていただきました!

普段はメッセージカードに加え、いつもとは違うおやつを提供するお誕生会ですが、口からの食事を食べられない方もおられますので、その方たちにも視覚的に楽しんでも、喜んでもらえる物はないかと考え、前回の秋祭りでも好評だった「くまさんタオル」を持つていただき記念撮影、そのまま差し上げる事にしました。

写真撮影の際は、普段笑顔をなかなか見せない方も穏やかな表情で素敵な笑顔を見せてくださいました。

ハロウィン仮装ではレクの時間に通いではない方も飛び入り参加してくださり笑顔溢れる写真を撮る事ができました。窓から見える景色では感じにくい季節の変わり目や、イベントを感じて頂ける機会を少しでも日常に追加できた瞬間でした。今後も、皆さんの笑顔を見れるような機会を、季節ごとに作っていききたいと思えます。(えくぼ元町: 辻)



素敵な笑顔をおうございました!

第16回

朋ちゃんコラム

研修会などで学んだ
有益な情報をご紹介します！

ずいぶんと寒い日が続いていて、すっかり秋から一気に冬に突入してしまいいそうですね。寒い朝は体の節々が硬く布団から出るまでに一苦労です。こんな時期こそ大切になるのが、「筋肉の貯金」だそうなんです。寒くなってくるのと関節がこわばり、筋肉も縮こまりやすくなります。その結果、ちょっとした段差でつまずいたり、バランスを崩して転倒する方が増えるのです。そんな冬に備えて、秋は体を整えるチャンスです。

足をグーパーしてみたり、ストレッチしてみたり、外に出たときは少し遠回りしてみるなどまずは体を動かすように心がけるだけでも、立派な筋トレになりますね。60歳を過ぎると、何もしなければ1年で1%ずつ筋肉が減っていく、特に太もも、おしり、背中の筋肉が減りやすいとか！ また、筋肉には、体温を保つヒーターのような役割もあるそうです。筋肉量が少ないと冬に冷えやすく、免疫も落ちやすくなるのです。転ばない筋肉作りをして、冷えにくい、ということは風邪をひくにくい体づくり！ この時期から運動を意識して「筋肉貯金」しましょうか。今回は、筋トレ挫折しがちな私のために、筋肉について調べながら書いてみました。数か月前のコラムで180度開脚できるストレッチを続けていると書きましたが、もうやっていません。痛みが出てしまつて、元通りどころか、逆効果だったのかも。そんな中、子どもがバスケで足を痛めてしまい、大事な試合前日から、毎日のように整形外科に通っています。整形外科の先生に回復するためのストレッチなど熱心に聞いている私ですが、携帯片手に優雅に寝ころび、電気をかけて施術してもらっている子どもの様子を見て、あー羨ましい。私が受けたら無理はしないで、体と上手に付き合っていきたいですね。前向きに★(小林)

第120弾

ドラムす子でバチ当たり人間のよもやま話



クマ出没がやたら多い。死者やケガ人はかつてないほど増えており畑などの被害も大きい。エサとなるブナの実やどんぐりの不作が主な原因のようだが他にも色々事情があるようだ。

札幌も連日のようにクマ目撃情報が発表されている。西区・手稲区・南区などやはり山の近くが多い。ここ小樽でも山側で度々現れる。職場のすぐ近くの桂岡という地区では2メートルものヒグマが目撃された。この桂岡から徒歩で通勤する職員さんがいる。しかも勤務が早朝なので真つ暗で人通りもない。だからこの職員さんは身を守るためクマ除けの鈴を鳴らしながら通勤してくれている。実にクマったものだ。

北海道のヒグマ、本州のツキノワグマを始めこの世界にクマは8種類いるらしい。アメリカクロクマ、ホッキョクグマ、マレーグマ、ナマケグマ、メガネグマそしてパンドだ。今や日本に定着し様々な被害をもたらすあのアライグマはクマではないそう。ヒグマは日本最大の陸上生物であり、8種のクマの中では攻撃性も高く最も危険な熊とされている。

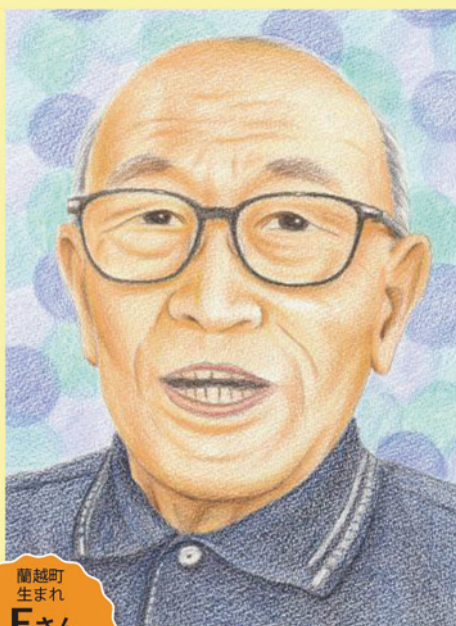
北海道民は開拓以来、先住のアイヌ民族はそれ以前よりヒグマとの関わりを持ってきた。あれこれヒグマと人との関係を調べるうち、吉村昭の小説「黒嵐」を読んだ。大正4年に実際に発生した苦前三毛別(さんけべつ)事件が題材となっていて、これこそ日本史上最悪の獣害事件とされている。作品には凄惨でむごたらしいヒグマの所業がリアルに描かれている。読み進むうち絶望的恐怖感に包まれるが、取りつかれたように一気読みした。貧しく厳しい生活を送る開拓民は田畑を求め開墾していくうち、ヒグマのテリトリーに侵入してしまう。そして悲劇が起る。現在クマ出没が多いのはエサの欠乏とともに、人間の生活圏の拡大や山間耕作地の放棄、ハンター不足等が関係していると言われている。

話がそれるが登別クマ牧場で飼育されているクマ達は厳格な管理下に置かれ、人に危害を加える心配はない。それどころかエサやりの際、入園者におねだりしたり媚びを売ったりする。あるクマは手を振ってアピールし、あるクマは両手を合わせ合掌しおじぎをして見せる。高い塀の上から下のクマに向かってエサを投げ入れるのだが、ずる賢いカラスが飛行しながら空中でエサを横取りしていく。クマはそれに腹を立てることもなく次のエサが投げ入れられるのをただ待っている。あまりにものどかな光景だ。あるいは昔ポリシヨイサーカスではクマが自転車こいでステージをぐるぐる回って客の喝采を浴びていた。クマを飼慣らすことが可能なのにも驚えるが、彼らにも性格など個体差があり人間の支配下におかれることが苦痛ではないものもあるかもしれない。けれど動物園やサーカスは彼らにとって決して自然な生き方ではないだろう。野生のクマはエサをもらうのではなく自ら狩猟し命をつなぐ。時に人も襲う。そんなクマと私たちはどう共生していけば良いのだろう。まず出会わないようにする。今のところこれしかないだろう。

少なくとも私は妻の支配下に置かれていることに何の異存もない。出会うことに多少の恐怖感はあるが喜んで媚びてみせるし自転車にも乗ってみせるだろう…とほほ。(蓮川)



人間万事塞翁が馬



似顔絵作: 松田 郁美

去年の春頃より本町を利用されているFさんは、昭和9年7月31日生まれの91才。蘭越町のご出身で、男4人、女5人の9人兄弟の次男として、幼少期を過ごされています。蘭越は冬になると、大変な大雪になるそうで、兄弟で協力しながら、いつも雪はねに追われていたそうです。スポーツをするのがお得意で、夏は野球、冬はスキーと日が暮れるまで身体を動かしていたと懐かしく話されています。小学校5年の時に終戦を迎えられました。

その後、叔父さんを頼り高校進学の為、札幌へ出て来られ、普通科の高校を卒業されています。卒業後は自衛隊に入職され、事務方として、経理や様々な事務作業に従事されたようで、そろばんをいつもパチパチパチパチはじいていたそうです。

自衛隊を4年程で退職され、日産の自動車ディーラに就職、セールスマンとして、当時の代表的なファミリーカー、サニーの販売に従事されます。+100ccの余裕を売りにしたライバル、トヨタカローラとの競合には苦戦したと語ってくれました。又お客様とお酒を飲む機会がとて多かったと当時を懐かしんでおられました。付き合いが忙しく、あまり寝る暇もなかったそうです。猛烈社員として、

蘭越町生まれ

Fさん

2025.10現在
91歳

営業マンとして、忙しく飛び回っていた頃、当時始めのカラオケでお客様といつも歌った歌で「今ではこの曲くらいしか覚えていない」と恥ずかしそうに照れ笑いが見られました。

好きな曲は…
「長崎は今日も雨だった」
前川 清

日本の高度経済成長を支えていたと自負もあつたとおっしゃっています。結婚され、お二人の男のお子さんを授かっています。

その後、日立製作所のサービステーションに転職。再び営業職として、電動工具、大工道具から、クレーンやコンプレッサ等々の大型機械を売り込みに全国各地を回ったそうです。日立在職中、忙しい中、専門学校に通い、機械の整備、修理の技術を習得されます。そして札幌にて独立指定サービスタを自営されていました。コロナの影響やご自身の健康問題もあり、お店を廃業、現在はサービスタ付き高齢者住宅に住まわれています。

普段は90才を超えているとは思えない程パワフルに、階段昇降やマシントレーニングを積極的に取り組み、パン作りや、帰る前にはボードの札はがし、連絡帳を並べる等の内職リハビリ等に取り組んでおられます。パン作りの際は、目の不自由な利用者様や、まだ慣れていない利用者様、体験で初めてパン作りをされる方に対して、優しくさりげない気遣いをして下さる、ジェントルマンです。

(聞き手…山本)

壽美子姉さん!



小樽 銭函 (こぼれ話)

第三話 裕次郎はぼくらの幼ともだち

「オレ、オレ、裕次郎と同級生」

「僕、兄の慎太郎と同級生」

日本中の誰もが夢を追い、憧れた裕次郎さんがその将来国民的英雄になるとは夢にも思わず、机を並べチャンバラごっこをし遊んでいた方たちがおります。銭函デイトレには昭和9年生まれの同級生がお2人おりました。

裕次郎さんと同級生だったOさんは顔を高揚させ、我がことのように語りました。やつはチャンバラとかやつても絶対自分が勝とうとせず、本当に強いやつだと思った。思いやりが深く、お菓子などもよく分けてくれた。足が速くて、背がどんどん高くなって女の子に人気があった。一生の宝を得たように涙ながらにお話してくださいました。

またSさんは東京からきたからハイカラで、自分たちとは違うなと思っていたそうです。

後に、裕次郎の住んでいた家の改築にあつたTさんは、出窓の下引き戸には裕次郎が遊んだビー玉やパッチなどがいっぱい入っていた。まだ有名になつていなかったから全部捨てたけど、もしとっておいたら今頃資産家になっていたかもと笑っておりました。

小樽には自分たちが誇りに思っていることがいっぱい。皆さんが小樽を自慢に思う由縁がここにもあるのですね。(寺本)



おいらーく

10月行事内容と11月行事予定

令和7年11月行事予定

せんり

- 誕生会
- とくし丸・豆腐屋

うらら伏古

- 誕生会
- スライド鑑賞しながらお茶会

えくぼ東雁来&
ココ東雁来式番館

- 紅葉ツアー

えくぼ元町&
ココ元町

- 合同誕生会

えくぼ元町式番館

- 焼き芋～イモ！

銭函お散歩カフェ

- 趣味の会（第1.3土曜日）
- 将棋教室（第2.4土曜日）
- 絵手紙の会（第1.3水曜日）

ココ輝楽

- 衣類販売(さいじょう)
- 誕生会
- 音楽療法

令和7年10月行事内容とイベント風景

- 誕生会
- 北斗七星
- 落ち葉装飾



- モエレ沼公園へ外出レクを行いました！



- ロイズと道の駅ツアー



- 合同誕生会・ハロウィン仮装



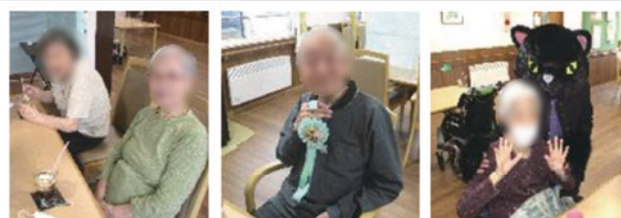
- 秋の大運動会!!



- 4日・25日 趣味の会
- 26日 町内会ハロウィーン（ココ輝楽にて）
- 29日 認知症カフェ～オレンジかふえ



- 出張カフェ
- 誕生会
- ハロウィン



経営方針

『高齢者も障害者も住み慣れた地域で、安心して暮らせる地域づくり』を目指し、つねに『ご利用者様の立場にたった総合的な介護・福祉企業』のあるべき姿を探究し続けるオンリーワン企業を目指します。